

- ・ 春日部市と春日部市教育委員会に「要望書」、春日部市議会に「請願書」を提出する予定です。
- ・ 「要望」という文言は、市議会宛は「請願」になります

春日部市長 石川 良三様

春日部市議会議長 川鍋 秀雄様

春日部市教育委員会教育長 植竹英生様

要望書

春日部市の子どもたちを放射線被ばくから守るための要望

福島原発の事故以来、小さな子どもを抱えた親は、不安な思いを抱いて過ごしています。

7月中旬に発覚した、牛肉汚染事件は、100km以上も離れた稲藁が原因とされています。その稲藁が高度に汚染されているということは、土壌及び土壌で育った作物の汚染も考えられます。子どもたちが口にする、食の安全に対する不安は募るばかりです。

また、春日部市においては、県による空間測定結果を見ても地域によりばらつきがあり、市によるきめ細やか測定が待たれます。この状況では、子どもたちの過ごす環境についても同様に心配は払拭されていません。

未来をになう子どもたちの命と健康を守るため、春日部市は早急に以下のことに取り組んでくださるよう、強く要望いたします。

記

- 1 市内のすべての保幼施設・学校等・公園・河川等の、放射線量の地上5センチ、50センチ、1メートル地点における計測の継続的実施、市民が不安に思っている地点及び、条件の異なるさまざまな箇所を測定し、市民への公表を速やかにお願いします
- 2 Iの結果に基づき、放射線量の高い地域での土壌検査の継続的実施と計測データ（放射線量・放射性核種）の市民への公表をお願いします。
- 3 法に基づき年間の被ばく量を1ミリシーベルトに抑えるため、測定の結果、年間1ミリシーベルトを超える恐れのある箇所については線量を低減する対策（立ち入り制限や清掃など）を行ってください。
- 4 保育所・幼稚園・小中学校の給食からの内部被ばくを出来るだけ避けるため、使用する食材の産地等の情報公開、放射性物質含有量の調査およびその結果に基づく放射性物質の低減努力（西日本から食材を購入するなど）をお願いします。
- 5 給食による内部被ばくが心配な保護者が、保育所や幼稚園・小中学校に持たせることや、子どもに牛乳を飲ませないことが許可になりましたが、その旨を市内の保護者に向けて通達してください。
- 6 放射性降下物が付着した砂埃から呼吸による内部被曝を避けるため、屋外活動時や清掃時に、保育所や幼稚園・小中学校等でのマスクや手袋着用の許可や子どもたちに対する及び呼びかけを行ってください。

- 7 被ばくを避けるための保育所や幼稚園・小中学校等での生活、活動における注意のよびかけを子どもたち及び保護者にむけて行ってください。
- 8 今後、このような放射線災害に対応できる用に、春日部市における防災対策をつくり市民に公表してください。

放射能から子どもの未来を守ろう
5年後10年後子どもたちが健やかに育つ会 春日部
代表 山本智子・宇田川利衣子
ほか 名

【署名方法】

- ・ 住所は「同上」などと省略せずにご記入ください。
- ・ 要望・請願の2ヶ所に署名をお願いします。
- ・ 春日部市在住の以外の方にも署名をお願いしています。
- ・ 日本にお住まいの外国人の方（アルファベット・カタカナ）の署名も有効です。
- ・ なお、要望書は最終版ではありません。主旨が変わらない範囲で、今後修正する可能性があることをご了承ください。
- ・ いただいた個人情報 は署名提出のみに利用し、第三者には提供しません。
- ・ 第1次集約日：8月中旬 署名をもとに要望書を提出（市議会宛は請願書を提出）します。（第2次集約日は、状況により変更になる可能性があります）

【集めた署名の郵送先】 〒344-8799 郵便事業株式会社 春日部支店留め
「子どもの未来を守る会・5年後10年後子どもたちが健やかに育つ会 春日部」宛て
・ ご連絡は sukoyaka_kasukabe_2011@yhao.co.jp までお願いいたします。